

ご使用になる前に

BL クイックチェンジはロボットの手首部に取り付けて、エンドエフェクタを自動交換する際にご使用いただく製品です。クイックチェンジの取付、ご使用にあたりましては本注意事項をよくお読みいただき、ロボット等の取扱い説明書をご参照になってからご使用ください。

- シールプレートの付いたマスタ・プレート単体では、絶対に着ポートに空気圧を供給しないでください。シールプレートが吹き飛んでケガまたは破損をする恐れがあります。
- QC-10Bに関しては、ロボットに取付ける前は絶対に脱ポートに空気圧を供給しないでください。ピストンが吹き飛び危険です。また、締結面からマスタ・プレートのピストンを押しすぎて、ロボット取付け面より飛び出さないようにしてください。ピストンが外れて鋼球がこぼれ落ち、修復に手間取ることがあります。
- クイックチェンジのマスタ・プレートとツール・プレートを切り離れた状態では絶対にユーティリティの電気信号部に電気を流さないでください。感電の恐れとショートによる製品の一部破損の可能性があります。
- クイックチェンジをフェールセーフ状態で長期にわたり放置させたり、フェールセーフ状態での使用はおやめください。クイックチェンジの機構部や周りの装置に損傷を与える恐れがあります。
- 可搬重量のほかに、曲げ方向、ねじり方向および複合モーメントもよく確かめて規格値以内で使用してください。マスタ・プレートとツール・プレートの口開きやがたが生じることがあります。
- 粉塵・切粉などが発生する環境での使用は避けてください。寿命が短くなったり、電気接点の導通不良を起こすことがあります。
- 結合時の近接および着脱動作中は、ロボット側からツール側に空気圧や電気信号を供給しないでください。うまく着脱できなかつたり、製品および周辺機器を損傷することがあります。
- 保守・点検時はロボットの電源を切り、エア供給源を止めて、ロボットの取扱説明書の安全上の注意事項を厳守してください。作業中にロボットが動き身体に重大な損傷を受けます。
- ロボットからマスタ・プレートを外すときは、ツール・プレートをツールスタンドに置き、着脱用ポートの残留空気圧を除去してから外してください。部品が飛んでけがをしたり、Oリングがはみ出して切れることがあります。
- 当社クイックチェンジにつきましては、当社品同士の組み合わせでご使用ください。当社品以外との組み合わせにおいて発生した不具合及び故障について、当社は責任を負いかねますので、予めご了承ください。

定期点検について

- ツール・プレートを分離してツールスタンドに置き、マスタ・プレートのピストンを“脱”の位置にして指で鋼球を動かし、粉塵などが付いて鋼球の動きが硬くなっていないかを、また、目視で鋼球にグリースが付いているかを確認ください。動きが硬いときはきれいな歯ブラシやウエスなどで清掃し、鋼球を回しながらグリースを鋼球に塗布してください。グリースが切れているときにも同様にしてグリースを塗布してください。

ツールの置き台について

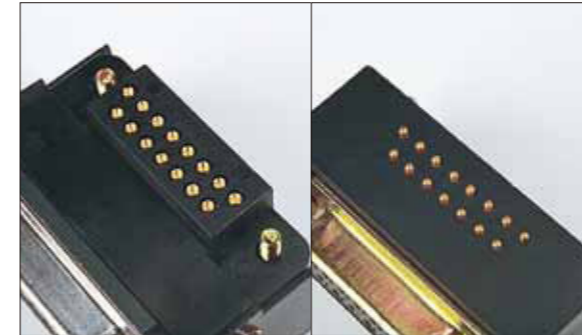
- ツールの置き台を設置する際には、置き台とツールを固定しないようにお願いします。クイックチェンジの位置決めピンもしくは置き台に負荷が掛かり破損をする恐れがあります。

●市販部材類のメーカー名

品名	用途	型式・仕様	メーカー名
段付平行ピン	マスタ・プレートとロボットアダプタ	各モデルの取扱説明書を参照してください。	㈱ ミスミ
	ツール・プレートとツールアダプタ		
ねじロック剤	コンタクトカバーねじ止め	1401	㈱ スリーボンド
	マスタ・プレートねじ止め	ロックタイト 222	ヘンケルジャパン ㈱
グリース	Oリングの潤滑	G-30 M	信越化学工業 ㈱(信越シリコーン)
	鋼球の潤滑	デフリックグリース UTLM-10	㈱ 川邑研究所

BL QUICK-CHANGE 電気信号接点の方式

電気信号 コンタクトプローブ方式



マスタ側

ツール側



マスタ側

ツール側

電気信号 差込みコンタクト方式



マスタ側

ツール側

⚠ 電気信号接続に関する注意事項

電気信号コンタクトブロックのJ16やD15、D37等のコンタクトプローブ方式の接点は点接触をしており、省配線やサーボエンコーダ線等、リアルタイム通信を行う用途でのご使用には適しておりません。リアルタイム通信を行う場合には、M10等差込みコンタクト方式の電気信号コンタクトブロックのご使用をご検討ください。詳しくは当社営業にご相談ください。